



2024年10月期 1Q決算について想定されるご質問に対する回答

本資料は、本日開示した2024年10月期 1Q決算について想定されるご質問に対する回答を皆様のご参考として開示するものです。

Q1：売上、営業利益ともに前年同期に比べて、大幅な増収、増益ですが、なぜでしょうか。

A1：店舗QSCAの継続的な向上により、価格改定を行った後も、客数が落ちることがなく既存店の平均月商が過去最高を更新し続けています。結果として、既存店の売上高昨年対比の上期想定110%（通期想定105%）に対して、当1Qが114.2%と想定を上回る水準になっており、大幅な増収、増益を達成することができました。（決算説明資料5、6ページ参照）

Q2：粗利率が前年同期比で低下していますが、想定通りでしょうか。

A2：当期は原材料価格の上昇は一服し、粗利率は前期3Q、4Qと同水準と想定しております。当1Qの実際の粗利率の状況も想定通りの結果となりました。（決算説明資料10ページ参照）

Q3：2024年1月に価格改定をしているようですが、その理由と改定幅、その後の客足はいかがでしょうか。

A3：2024年1月1日に全ブランド平均で約10円（約1%）アップの改定を実施いたしました。改定後、現在に至るまで、客数は昨年対比で100%を超える状況であり客足への影響はございませんでした。弊社は、原価と人件費の両面からコスト上昇分を吸収できるように価格改定させていただくという方針のもと運営しております。競争力のある人材を確保するため、2024年1月に給与水準の大幅UPを行い、それにとまなう運営コストの上昇に対して価格改定を実施させていただきました。（決算説明資料7ページ参照）



Q4：出店の状況はいかがでしょう。

A4：当1Q末での進捗は、直営店、FC・プロデュース店を合計して純増10店舗（年間純増目標87店舗）と、年間目標に対して遅れた進捗となっています。ただし、直営店は年間出店目標41店舗の半数以上の賃貸借契約は終了しており、それに加えて幸楽苑HDが運営する店舗を21店舗承継することで基本合意しております。年間出店目標を達成できるように、引き続き取り組んでまいります。（決算説明資料12、13ページ参照）

Q5：人材確保の状況は、いかがでしょう。

A5：人材確保のため様々な施策を実施 or 計画しており、徐々に効果は出てきております。退職率が前年同期の17.6%から当1Qは14.7%に低下しております。
退職率の低減（働きやすさと働きがいの両立）と採用力の強化（応募者数増加と内定率向上）に、引き続き取り組んでまいります。（決算説明資料8ページ参照）

以上